

令和8年度

ヤングケアラー相互ネットワーク
形成推進事業

参加費
無料

定員50名
事前申込制

こども家庭庁
補助事業

ヤングケアラー支援

交流会 (四国会場)

地域を越えるネットワークで、
支援を次のフェーズへ

日時

2026年11月27日 (金)

13:00-15:30

交流会 15:30~16:30

会場

サンポートホール高松 54会議室

(香川県高松市サンポート2-1) ※オンライン参加も可能

対象

自治体担当者／民間団体／福祉関係者／
ヤングケアラー支援に関心のある方

プログラム

- 1 インプットトーク ヤングケアラー支援の歴史・課題・政策 (こども家庭庁)
- 2 トークセッション1 気づきを、支える仕組み 実態把握と体制づくりの現在地
- 3 トークセッション2 ひとりで抱えない ケース対応と多機関連携のリアル
- 4 ワークショップ 参加者同士で小グループに分かれ、それぞれの地域の現状を持ち寄りながら、明日からの「次の一歩」を一緒に考えます。
- 5 交流会

ゲスト

上村文子さん (滋賀県子ども若者ケアラーコーディネーター)

トーク1

トーク2

山本 豪さん (えひめ権利擁護センター新居浜代表理事)

トーク1

トーク2

門田美由希さん (高知県ヤングケアラーコーディネーター)

トーク1

北川加奈子さん (社会起業家、学生服リユース「さくらや」創業者)

トーク2

宮本恭子さん (島根大学教授)

トーク1・2 コメンテーター

お申込み

右の二次元コードから (定員50名・先着／参加費無料)

[申込締切] 11月20日 (金)



お問い合わせ

N.K.Cナースングコアコーポレーション合同会社 藤吉・岸下

0859-30-4856 / info@my-nurse.jp

主催：N.K.Cナースングコアコーポレーション合同会社(こども家庭庁補助事業)



この事業について

ヤングケアラーは制度のはざままで気づかれにくく、支援は都道府県・市区町村・関係機関のどこか一か所では完結しません。自治体ごとに実態把握の段階も連携の形も異なり、経験を共有できる場が限られています。本事業は、地域を越えて担い手がつながり、事例とノウハウを共有できる関係をつくることを目的としています。

中国会場（鳥取・11/24）、四国会場（香川・11/27）での交流会をきっかけに、自治体・支援機関の皆さまへのオンライン伴走支援やポータルサイトの開設を通じて、地域を越えて支え合うネットワークづくりを進めていきます。

出合いを、ネットワークを、地域の実践力へ。

登壇者プロフィール

● 上村 文子 さん

滋賀県子ども若者部子どもの育ち学び支援課
子ども若者ケアラーコーディネーター

長年、児童虐待や貧困等の複合課題を抱える家庭支援に携わり、2012年から滋賀県教育委員会でSSW事業のスーパーバイズを務める。公では届きにくい支援を補うためのボランティア団体「たんぽぽ」を結成し、夜の居場所事業を展開。R8.4.1に一般社団法人「しがの未来創生センター」を立ち上げ、制度の狭間の支援を推進している。

● 門田 美由希 さん

高知県ヤングケアラーコーディネーター／
一般社団法人高知県社会福祉士会所属

高知県出身の社会福祉士。大学卒業後、認知症グループホームで介護職として勤務後、医療機関や地域包括支援センターで相談援助業務を行う。令和4年度より一般社団法人高知県社会福祉士会に勤務。現在は高知县委託事業「高知県ヤングケアラー・コーディネーター配置事業」のスタッフとして、高知県内で普及啓発活動を行っている。

● 山本 豪 さん

一般社団法人えひめ権利擁護センター新居浜
代表理事、スクールソーシャルワーカー

社会福祉法人での勤務を経て、2017年に一般社団法人えひめ権利擁護センター新居浜を設立し、代表理事に就任。愛媛県スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー、新居浜市スクールソーシャルワーカーとして、福祉の視点から子ども・家庭を支える仕組みづくりや、学校・行政・地域が連携して支援できる体制の構築に取り組む。2022年以降、愛媛県ヤングケアラー支援研修の講師を務め、2025年に実践書を刊行。2026年には、日本財団主催の公開イベントに登壇。

● 北川 加奈子 さん

社会起業家、学生服リユース「さくらや」創業者

子育て中の「困った」をきっかけに起業し、全国で累計100店舗超の立ち上げ・育成に関わる。現在は、子どもの貧困、環境、障がいのある人の仕事づくりなど、地域課題を「仕事」と「つながり」に変える活動を展開。モノも人も地域でつなぎ、誰もが役割を持てる地域共生の仕組みづくりを実践している。

● 宮本 恭子 さん（コメンテーター）

島根大学法文学部法経学科 教授／一般社団法人ヤングケアラーサロンネットワーク代表理事

博士（経済学）。保健師・助産師・看護師・介護支援専門員等の資格を持ち、ケア経済・社会保障政策の視点からヤングケアラー、社会的孤立、権利擁護支援などを研究テーマとする。島根県ヤングケアラー勉強会実行委員長をはじめ県の審議会委員を多数務め、年間約30件の講演活動を行う。著書に『日本社会の変容とヤングケアラーの生成—地域の実態調査から支援の方向性を考える』（晃洋書房、2025年）など。